
遠距離対応

高解像度 360 度ネットワークカメラ

モデル名: **NUD360-F**

IPユーティリティ

取扱説明書

発行日: 2017/4/12

版: Rev.1.1

目次

第1章	製品について	3
第2章	準備	4
1.	機器の接続	4
2.	IP ユーティリティの準備	4
第3章	機能説明	5
1.	機能説明	5
(1)	更新	5
(2)	ネットワークアドレスを	6
(3)	デバイス設定	7
(4)	ファームウェアのアップゲ	7
(5)	設定・バックアップ	8
(6)	設定・復元	8
(7)	リセット	9
(8)	保存と再起動	9
(9)	スキャン	10
(10)	TroubleShooting	10

商標について

- Microsoft, Windows, Windows VISTA, Windows 7, Windows 8, Windows 10, Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

第1章 製品について

IP ユーティリティとは、ネットワーク上のブロードステーションを設定・管理したり、ブロードステーションと各 PC の接続を確認したりするユーティリティソフトウェアです。

対応言語：

日本語、英語、イタリア語、フランス語、ロシア語、簡体字中国語、伝統的な中国語、スペイン語、オランダ語、チェコ語、ハンガリー語、ポーランド語、ルーマニア語。

デフォルトは英語ですが、使用する PC の OS に準じて自動的に言語設定されます。または、キーボードの `ctrl+alt+j` を押すことで対応する言語に直接設定できます。

使用環境：

1. 32ビット、64ビットの Windows system (Windows VISTA, 7, 8, 10).
2. ファームウェアのアップグレード機能によって、ローカル PC のファームウェアファイルネームを自動的にチェックします。カメラのファームウェアをダウンロードした場合に、ファームウェアファイルネームを変更しないでください。
3. 装置の IP アドレスを変更した場合は、「更新」ボタンをクリックして現在の IP アドレスを取得してください。

第2章 準備

1. 機器の接続

PC とカメラを接続するために、双方をイーサネットケーブル経由で接続します。同時に、カメラに電源供給をする必要があります。PoE を利用する場合は、PoE インジェクター又は、PoE スイッチをカメラと PC の間に設置して下さい。

正常に電源が供給された場合には、カメラのイーサネットポート LED 又は電源 LED が点灯します。

2. IP ユーティリティの準備

ネットワークに接続された PC にフォルダを設けて、カメラに付属の CD から、下記の実行ファイルを移植してください。

IP_Utility.exe

IP ユーティリティで設定・変更された内容は、同じフォルダの中に、.csv ファイルが「自動生成され保存されます。

自動生成されるファイル名の例： IPUtility_2017215130059.csv

(生成された年月日と時刻： 2017 年 2 月 15 日 13:00:59 を意味しています)

第3章 機能説明

1. 機能説明

IP ユーティリティには以下の機能があります。

以下は、ボタンの名称です。（一部の日本語表記が不適切ですがご容赦ください。）

- 更新
- ネットワークアドレスを
- デバイス設定
- ファームウェアのアップゲ
- 設定・バックアップ
- 設定・復元
- リセット
- 保存と再起動
- スキャン
- TroubleShooting

(1) 更新

ネットワーク上に存在しているイーサネット対応機器やブロードバンドステーションの現在の状況を表示します。



装置は IP アドレスで表示されます。

対象とする装置にマークし(左端)、変更や削除を行います。

装置を追加する場合もここで行います。

(2) ネットワークアドレスを

各装置のネットワークアドレス(動的 IP アドレス、固定 IP アドレス)を変更します。



固定 IP アドレスを変更する場合は、入力後[適用]をクリックして確定してください。



(3) デバイス設定

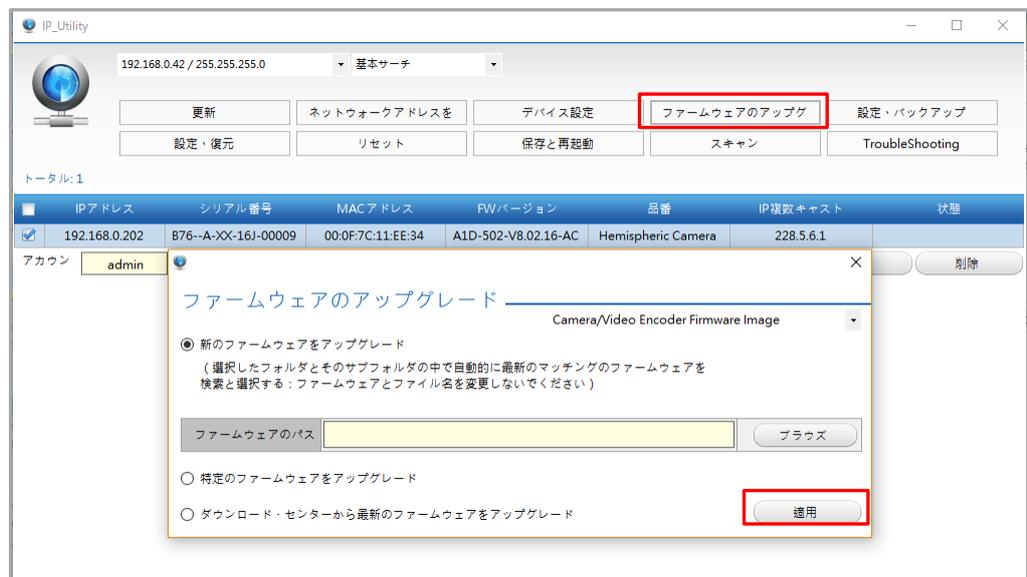
各装置の日付時刻設定、動体検知設定、ビデオ/音声設定、URL 設定します。



各項目の設定メニューにチェックを入れたら、[適用]をクリックして確定してください。

(4) ファームウェアのアップグ (日本語の表記が途切れていますがご容赦ください)

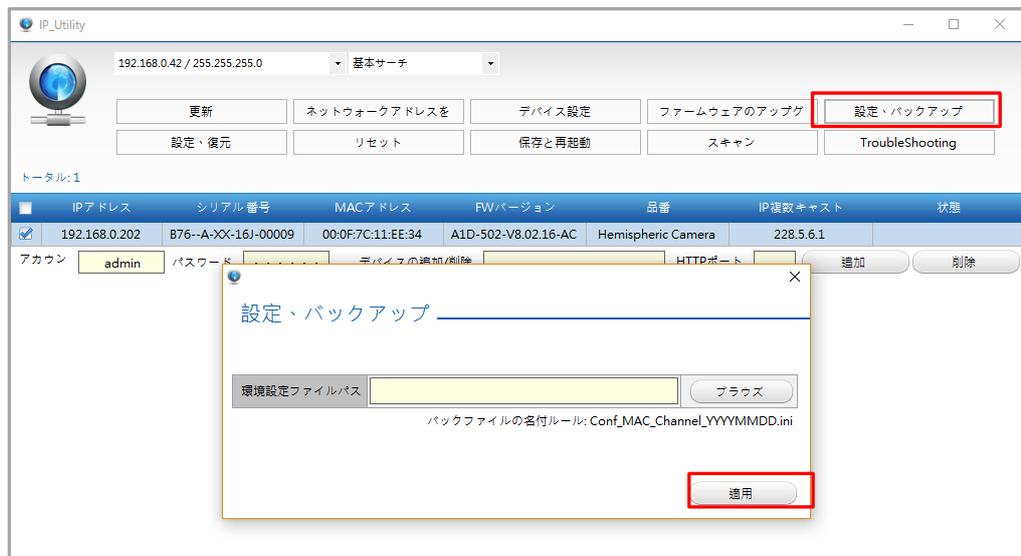
特定のファームウェアをアップグレードしたり、最新のファームウェアをダウンロードします。



入力後、[適用]をクリックして確定してください。

(5) 設定・バックアップ

ブラウザの環境設定ファイルのパスを設定します。



入力後、[適用]をクリックして確定してください。

(6) 設定・復元

環境設定を復元します。



入力後、[適用]をクリックして確定してください。

(7) リセット

装置のネットワークアドレス、DNS、DDNS、HTTP、HTTPS といったネットワーク構成以外の設定は、工場出荷時のデフォルトにリセットされます。

装置は、環境設定をリセットしてから再起動します。再起動には数分かかります。



[適用]をクリックするとリセットを開始します。途中でやめる場合は[リセット]を押してください。

(8) 保存と再起動

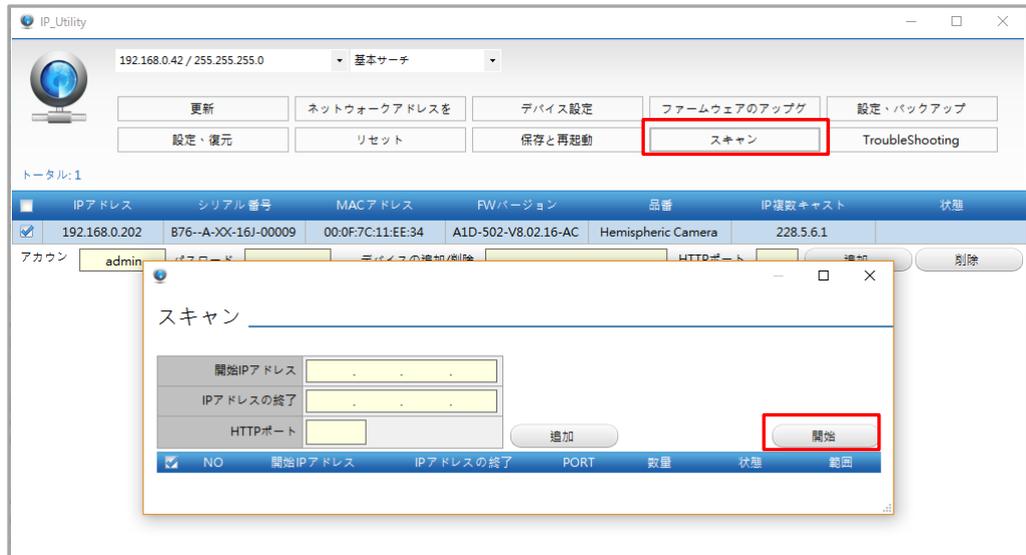
変更した設定を保存します。保存後再起動します。再起動には数分かかります。



[適用]をクリックすると保存を開始します。途中でやめる場合は[リセット]を押してください。

(9) スキャン

ネットワーク上の IP アドレスを検索します。開始と終了の IP アドレスを入力して[開始]をクリックしてください。



(10) TroubleShooting

装置に異常がないか検査します。入力後、[適用]をクリックして確定してください。

